

つるおか芸文だより

鶴岡市芸文協NPO法人化設立総会

《県内芸文団体で初の法人化》 《新文化会館指定管理目指す》

鶴岡市芸術文化協会の特定非営利活動法人（NPO法人）設立総会が平成28年4月22日、市勤労者会館で開かれた。

昭和39年に鶴岡市芸術振興会議として設立されて以来、昭和59年、現在名の鶴岡市芸術文化協会に改称。更に平成17年10月、1市4町1村の行政合併後は6地域合同の芸術祭実行委員会



4月22日、市勤労者会館での設立総会には約100人が出席した

を組織し、相互の理解と交流を深め芸術祭を催行してきた。

その成果を踏まえ、昨年4月に6地域芸文協の一体化を成し遂げ、地域社会からの大きな期待を寄せられていた。そして時代の潮流は行政から民間へ事業委託される方向に進んでいる。その中で現在の任意団体のままでは、多様な芸術文化振興に資する目的を達成するにも、様々な制約が生じると思われる。

そこでNPO法人にすることで社会的信用を高め活動の幅を広げることにした。

県内市町村芸文団体が法人格を取得するのは初めてという設立総会には、加盟団体などから約100人が出席。来年8月に完成する新文化会館の管理運営の指定管理者を目指すこととなった。

東山会長はいさつの中で「各分野や各地域の芸術文化活動を活性化させ、次世代に継承し、創造都市鶴岡の未来を担いたい。エネルギーを一つに結集し、互いの友情を信じ知恵を出し合って前に向かおう」とよびかけた。また来賓として出席した榎本政規市長は「加盟する皆さんが持つ様々なノウハウを結集して、より良い芸術文化の町をつくってもらいたい」とあいさつした。

NPO法人設立趣意書、定款、一般会計と芸術祭会計を合わせ総額749万円の平成28年度収支予算、役員の人事案を了承した。事務局は市櫛引庁舎2階に置き、事務局長ら2人が常駐する。

尚、その後7月には県知事よりNPO法人の設立認証があり、72の構成団体によって正式にスタートした。

新体制で芸術文化の振興を



特定非営利活動法人
鶴岡市芸術文化協会
会長 東山 昭子

平成28年4月22日、設立総会を開催し、承認を受けた任意団体から特定非営利法人への移行も、法人化検討委員会（後藤和夫委員長）諸氏の献身的な作業により、関係機関の適切な指導のもと申請を終え、7月6日承認、翌7日登記完了し、この日をもって法人設立の日と証明された。県内初の法人化であり、地域活性化・雇用促進・自治体事業のスリム化など、時代の趨勢がその方向に動いているとは言え、組織として確保しなければならぬ人材・財政を含め、総合的な経営能力のアップなど課題は多い。

「変えてはならないもの」「変えなくてはならないもの」を厳しくチェックし、加盟団体の活動が喜びとなり、芸文活動が本質的に目指す「いのちの輝き」を美と愛の感動でつなぐ精進が、鶴岡で日毎連続して展開されるよう図ってゆきたい。それには総会で承認された「目的及び事業」に掲げる内容が、加盟各団体で共有されるのが第一であり各団体がそれぞれの個性を生かし、連携し合うことで目的も事業の成功も図られると考える。

理事会と芸術委員会が密接につながり、補完し合う協力が必須となる。限られた時間ではあるが、最大限に経営能力を高め、市民の信頼を得たい。そして新しい事業、当面の課題たる文化会館の指定管理団体候補として幾多先人の功績に伝えられるよう、自信をもって挙手できる力量を積み重ねたい。

汗をかいて頂くことも多くなりますが、自分たちの組織・芸文の未来を拓く一員として、共に前進を図って参りましょう。

会長 東山昭子
 副会長 市川清治
 副会長 後藤和夫
 副会長 小林健郎(宗健)
 理事・事務局長 梅津芳春
 理事 渡部 嚴
 理事 高山千代子
 理事 難波正喜



鶴岡市芸術文化協会役員 (理事・監事)

鶴岡市芸術文化協会
芸術委員会役員

理事 五十嵐悦郎
 理事 加賀山捷三
 理事 柿崎泰裕
 理事 鈴木千代女(豊苑)
 監事 三浦恒祺
 監事 三井 薫

顧問

鶴岡市長 榎本政規
 鶴岡市議会議長 佐藤文一
 致道博物館館長 酒井忠久
 NHK鶴岡支局長 栗田晴行
 山形新聞社鶴岡支社長 青塚 晃
 荘内日報社代表取締役社長 橋本政之
 山形テレビ庄内支社長 鈴木 讓一
 鶴岡商工会議所会頭 早坂 剛

相談役

前鶴岡市芸術文化協会事務局長 石田 雄

役員

委員長 東山昭子
 副委員長 市川清治
 黄雞鶴岡歌会 市川清治
 錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部 佐藤和夫
 鶴岡竹友会 後藤 晃
 羽黒芸術文化協会 小林宗健
 裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区 小林宗健

芸術委員

藤島芸術文化協会 成澤恒雄
 羽黒芸術文化協会 阿部義郎
 櫛引芸術文化協会 齋藤正喜
 朝日芸術文化協会 難波治郎作
 温海芸術文化協会 渡部 嚴
 きたぐに短歌会 清野吉喜
 白 甕 社 市川照夫
 庄内写真研究会 高井美智子
 鶴岡さつき盆栽研究会 佐藤時彦
 書法研究山紫会 大井 清
 鶴岡観世流同好会 小林 空山
 藤 静 会 齋藤 衛
 柏 樹 流 藤 間 静貴久
 さ、波 会 佐藤 陸
 日本九重流鶴城清吟会 三井 薫
 鶴岡土曜会混声合唱団 五十嵐悦郎
 鶴岡放送児童合唱団 伴 和香子
 男声合唱団デザミン・アンティム 菅原 求
 鶴岡響友会吹奏楽団 堀 公明
 吉統舞踊学園 吉 正義
 表現舎刻一刻 佐藤 正一
 大日本茶道学会鶴岡支部 熊田 広樵
 遠州流茶道山形支部 五十嵐 宗輝
 古流松應会庄内支部 中村 理泰
 小原流鶴岡支部 宮田 眞由美
 草月流山形県支部鶴岡地区 布川 珀翠
 華道栖草流鶴岡支部 庄司 栞和
 庄内なつメロ会 小林 徹
 つるおかい出の歌愛唱会 小林 達夫
 劇団麦の会 櫻井 清
 ViViバレエスタジオ 佐藤京子



鶴岡市芸術文化協会 芸術委員会役員

鶴岡土曜会混声合唱団 柿崎泰裕
 藤島芸術文化協会 高山千代子
 劇団麦の会 加賀山捷三
 小原流鶴岡支部 鈴木 豊苑
 白 甕 社 三浦恒祺
 事務局長 三浦恒祺
 シンフォニック荘内流 梅津芳春

第11回 鶴岡市芸術祭開幕式典

8/27

平成28年8月27日(土)、アートフォーラムを会場に、第11回鶴岡市芸術祭の開幕式典が催行された。

午後1時30分、榎本政規市長、佐藤文一市議会議長を始め、ご来賓に芸文協顧問各位、芸術祭賞選考委員各位、加盟参加71団体代表の臨席を得て、昨年に優る55団体による45公演の開幕を祝った。

司会は梅津芳春事務局長、共催する鶴岡市教育委員会加藤忍教育長と鶴岡市芸文協東山昭子会長がそれぞれ主催者



▲テープカット

▼祝歌合唱



として「各自の精進する世界で、楽しく豊かな市民交流の秋を『海づくりアート』も含め年代とジャンルを超えた、いのち輝く愛と美の感動を」と抱負と期待を述べ、榎本市長より祝辞を頂いた。

ファンファールの音も晴れやかにテープカットし、今年入会の「鶴岡江戸川交流合唱団」による祝歌合唱で閉会。その後、白薔社展を鑑賞しつつ、お互いの健康を誓い合った。

鶴岡市芸術祭賞選考委員

氏名	担当部門
選考委員長 佐藤 政一	洋舞・演劇・大衆芸能
選考副委員長 小林 達夫	邦楽・日舞・民謡・民舞
選考副委員長 佐藤 晃	洋楽
中里 欣一	邦楽・日舞・民謡・民舞
後藤 和夫	邦楽・日舞・民謡・民舞
小林 功	邦楽・日舞・民謡・民舞 吟詠・大衆芸能
久保田 豊	大衆芸能・文芸
堀 公明	洋楽
藤間 静貴久	洋楽
伊達 克夫	洋楽
牧 慎一	洋楽
市川 清治	洋舞・演劇・文芸
五十嵐 重良	洋舞・演劇
佐藤 宗涼	展示・茶道・華道
小澤 紀美	展示・茶道・華道
小林 良市	展示・茶道・華道
三浦 恒祺	展示・茶道・華道
日向 常浩	展示・茶道・華道・文芸
佐藤 よし子	展示・華道・文芸・茶道
小林 宗健	展示・華道・茶道
梅津 芳春	総括

設立当初の

平成28年度の事業計画

法人成立の日から平成29年3月31日まで

事業名	事業内容	事業実施予定内容
①芸術祭の開催	1. 第11回鶴岡市芸術祭の開催(鶴岡市教育委員会と共催)	開幕式典 8月27日(土) 8月~12月 芸術祭開催 閉幕のつどい 12月23日(金)
②芸術文化創作活動、発表活動の振興事業	2. 豊かな海づくりアート(協賛事業)	9月3日(土)~11日(日)
③加盟団体、会員相互の提携、交流顕彰事業	3. 芸術文化活動・交流への支援	活動の支援を行う
④次世代の育成事業	4. 芸術文化協会 功労者の表彰	芸文協の功労者表彰規程に基づき行う
⑤会報発行等の広報活動事業	5. 若い世代の育成支援 6. 鶴岡市文化基金協議会運営への協力	県総合文化型クラブ支援文化基金協議会の事業への協力を行う
⑥文化施設の整備促進、利用促進、管理・運営事業	7. 会報「芸文だより」の発行 【第3号・第4号】	7月 第3号 1月 第4号
⑦各種芸術、文化に関する発表会、講演会等の共催、後援事業	8. 芸術文化施設の充実・強化 9. 本会会員が主催・共催する発表会、展示会及び全市的芸術文化事業への協力	4月~9月 文化会館設備充実の募金活動を実施する 共催・後援事業への協力
⑧その他目的達成に必要な事業		庄内地区芸術文化懇談会(酒田・松山)

市民アート実行委員会

実行委員長……柿崎泰裕（土曜会）
副実行委員長……佐藤 晃（竹友会）
副実行委員長……鈴木 末（八沢会）
他実行委員若干名

海づくりアート鶴岡

昨年度の盛り上がりを糧に、庄内で開催された「第36回全国豊かな海づくり大会」に協賛しての『海づくりアート鶴岡』を開催し、全国から来庄の皆さまを歓迎するとともに、豊かな庄内の自然に感謝しつつ、新たな人材育成をも視野に入れて展開しました。

●鶴岡タウンキャンパス広場 9月10日㊥



●八沢会



●山形庄内よさこい連盟



●松柏吟友会



●なんちゃってバンド



●Gospel Gleamers



●市民参加型ミュージカル実行委員会

●エスマール 9月3日㊥



●鶴岡東高等学校吹奏楽部



●鶴岡工業高等学校吹奏楽部



●鶴岡南高等学校吹奏楽研究会

9月5日㊥～11日㊥



●白甕社

●市役所ロビー



●鶴岡放送児童合唱団



●庄内農業高等学校文化部

9月4日㊥



●鶴岡ハーモニカソサエティ



●男声合唱団デザミ・アンティム

9月4日㊥



●鶴岡竹友会

●由良ふれあい広場 9月11日

●丙申堂 9月4日



●表現舎 刻一刻



●藤 静 会



●日本九重流鶴城清吟会

9月30日～11日



●黄雞鶴岡歌会



●田川民話の会



●さざ波会



●生花 草月流



●書法研究 山紫会



●TAPE (村山智昭)



●稲京短歌会



●書道研究 飛雲会



●羽黒高等学校吹奏楽部



●鶴岡工業高等学校絵画部



●鶴岡中央高等学校 美術部・書道部



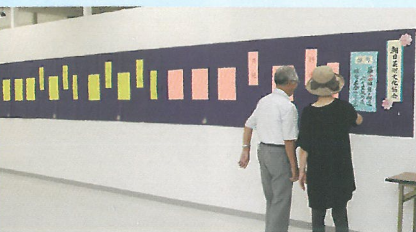
●荘内金管合奏団



●庄内農業高等学校文化部



●鶴岡書道会



●六十里越街道俳句大会の作品



●錦心流琵琶一水会・シンフォニック荘内流・だいこん座

●エスモール 9月10日

平成28年度

鶴岡市芸術文化協会 特別感謝状・功労者表彰

芸文協の運営・振興に貢献のあった四名の方が表彰された

特別感謝状表彰

鶴岡市芸術文化協会
前事務局長

石田 雄氏

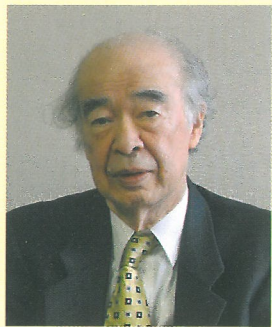


平成二年より
本会事務局長として、会務の拡充発展に心血を注がれました。また、記念誌の編集や会報発行を通して、本会と市民や関係各位を絆深く結ぶ任務に精魂を込められました。

功労者表彰(美術)

書法研究山紫会

小林空山氏



書法研究山紫会を創設し永く会長として献身的に書道教育に尽瘁し、芸術祭においても入賞を重ねられました。また、会長として誠実な取り組みを続け、芸術文化の振興に貢献されました。

功労者表彰(美術)

佳陽会

茅野 淑氏



佳陽会の設立に仲間と共に関わり、日本画の伝統の継承に努められました。その間県市芸術祭で入賞を重ね、中央での美術展に出品するなど、会長として芸術文化の振興に貢献されました。

功労者表彰(吟詠)

九重流詩吟学会朝陽清吟会

百瀬 健治氏
(皓洲)



長く監事として本会の会計監査の任を務められました。また、城下町文化としての吟詠の指導普及に励み漢詩文の伝統文化の継承に尽瘁し、本会の発展に寄与されました。

平成27年度(第53回) 山形県民芸術祭の受賞団体

●優秀賞 佳陽会



第37回佳陽会日本画展 9月29日～10月4日 鶴岡アートフォーラム

●奨励賞

鶴岡和紙
ちぎり絵サークル
第26回鶴岡和紙ちぎり
絵サークル展
10月8日～12日
鶴岡アートフォーラム



●奨励賞

フォト・アイ
第3回フォト・アイ写真展
10月28日～11月1日
鶴岡アートフォーラム



新文化会館改築工事 順調に進む

平成29年8月末の竣工、平成30年3月のグランドオープンを目指して

文化会館改築工事は、平成26年10月の着工後、平成27年4月から本工事に着手し、現時点では遅れも無く、工事は順調に進んでおります。

市役所前を通ると、工事が進んでいる様子が目に入ってくるかと思えます。現在は、屋根工事や外装工事等に取り

組んでおり、年内で建物の外側の工事を終え、年明けからは電気・機械・舞台設備関係の工事や内装の仕上げ工事、外構工事などを行い、平成29年8月末の竣工予定となっております。

現場見学会・内覧会の開催

工事の状況を直接見て知っていただく機会として、春と秋に現場見学会を開催しております。今年の10月15日に開催した第3回の現場見学会には、過去最多の137名から参加していただきました。

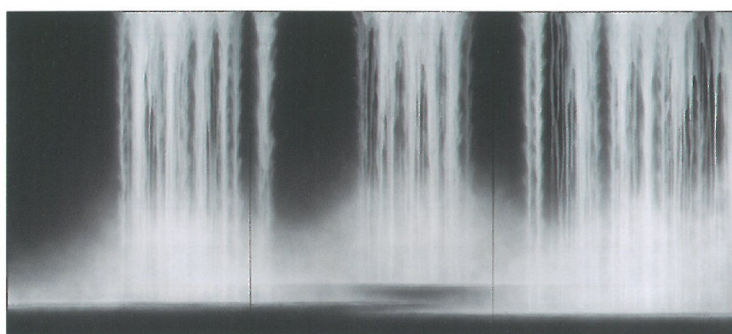
工事の概要や建築工法の説明を受けた後、早速現場に移動し、建物の特徴である柔らかく重なる形状の屋根や、一部は既に完成したホールの外壁、また舞台や通路などの館の内部も見学していただきました。

来年度も工事の進捗状況を考慮しながら、来春には第4回の現場見学会の開催を、また、竣工後には内覧会の開催を計画しておりますので、皆様方からも多数ご参加いただくと幸いです。

開館スケジュール・設置及び管理条例

竣工後は、備品の搬入・設置や舞台機構の習熟訓練と並行して、竣工記念式典や小中学校の合同音楽会、避難訓練を兼ねたコンサート、初の全市統一の成人式、試験供用等を行い、平成30年3月のグランドオープンに向け、万全の体制で準備をして参ります。

千住博氏デザインの本緞帳制作が始まる



千住博/水神(2015)



千住博氏(©村上義親)

新文化会館へ設置する本緞帳のデザインには、世界的な画家の千住博氏の「水神」を採用することとしました。

この「水神」は、平成27年に美術のオリンピックとも称されるヴェネツィアビエンナーレで初公開された作品です。出羽三山の雪解け水、月山の豊かな水資源を彷彿とさせる作品であり、勢いよく流れる滝のように、文化会館からも様々な芸術文化が創造されることを期待し採用いたしました。

本緞帳の制作にあたっては、公募型プロポーザル方式により全国から広く提案を募集し、各社からの提案内容を総合的に評価し、グラデーションなど細密な表現が優れていると評価された「オリエンタルカーペット(株)」が特定者に選定され、契約を締結しました。

本緞帳の素材の一部には「鶴岡シルク」を活用し、本市のシルク文化を市内外にPRするとともに、シルクタウンプロジェクトの一環として市民が育てたシルクも活用します。今後さらさら市民の関心を高め、愛される施設となるように取り組んで参ります。

知して参ります。

皆様には大変ご不便をおかけしておりますが、引き続き市内の公共施設等をご利用いただきながら、優れた創作活動の発表を継続され、新文化会館の開館までもうしばらくの間お待ちいただけますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

(鶴岡市教育委員会社会教育課)

工事現場全景(11月25日市役所より撮影)



平成28年度 鶴岡市芸術文化協会 部門別加盟団体・地域芸術文化協会一覧 (5地域 66団体)

美術											文芸				地域					髻		
フット・アイ	書道研究飛雲会	フットサロン写楽	鶴岡さつき盆栽研究会	佳陽会	庄内写真研究会	鶴岡和紙ちぎり絵サークル	書法研究山紫会	如月会	鶴岡小品盆栽会	畊雅会	鶴岡書道会	白鷺社	俳誌「月山」鶴岡支部	稲京短歌会	黄雞鶴岡歌会	きたぐに短歌会	えにしだ短歌会鶴岡支部	温海芸術文化協会	朝日芸術文化協会	櫛引芸術文化協会	羽黒芸術文化協会	藤島芸術文化協会
佐藤 稔	渡部 飛雲	岡崎 利男	進藤 慶順	茅野 淑	佐藤 時彦	小澤 紀美	小林 空山	梅本 幸仙	上林 節男	阿部 畊雅	佐藤 政一	三浦 恒祺	阿部 月山子	佐々木 秀子	東山 咲子	市川 照夫	富樫 正子	本間 庸枝	渡部 巖	難波 正喜	後藤 和夫	成澤 恒雄
23-9700	22-2344	22-2803	33-4317	23-8558	24-3285	24-6701	22-0088	33-3425	22-1935	23-1323	22-8810	23-5713	64-5302	23-9665	22-5991	22-2195	23-5618	43-4611	53-2111	57-5670	62-2111	64-5813

洋楽			民謡	吟詠	民謡・民舞	日舞	邦楽																	
男声合唱団 デザニ・アンティム	スイング・クレイムズ・ジャズ・オーケストラ	バウムクーヘン	鶴岡ハーモニカンサエティ	鶴岡放送児童合唱団	鶴岡土曜会混声合唱団	田川民話の会	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	九重流詩吟学会朝陽清吟会	日本九重流鶴城清吟会	八沢会	淡井会	さゞ波会	千川流	柏樹流	藤静会	庄内竹道会	高橋理香等アンサンブル	鶴岡竹友会	シンフォニック庄内流	宝生流鶴岡五雲会	鶴岡観世流同好会	鶴岡支部	錦心流琵琶全国一水会	
菅原 求	橋本 祥造	乙坂 美香	小竹 淑子	伴 和香子	阿部 淳二	帯刀 春男	佐藤 昌直	百瀬 皓洲	佐藤 刀洲	鈴木 末	山本 淡井	佐藤 睦	千川 貴榮	柏樹 京徳	藤間 静貴久	渡部 滋人	高橋 理香	佐藤 晃	梅津 芳春	上林 清一	齋藤 衛	市川 清治	鶴岡支部	市川 清治
22-5068	25-0702	64-2014	22-8390	22-6399	23-9997	53-2617	23-8510	23-1344	22-0171	35-2439	24-5447	35-3115	24-4516	24-3684	22-1746	23-9139	00-9465-0004	23-9028	23-0370	22-1501	23-9105	23-6775	鶴岡支部	23-6775

大衆芸能	華道			茶道			演劇		洋舞		洋楽													
つるおか恵い出の歌愛唱会	庄内なつメロ会	華道栖草流鶴岡支部	龍生派	遠州山形支部	池坊	草月流山形県支部鶴岡地区	一般財団法人 小原流鶴岡支部	古流松應会庄内支部	遠州流茶道山形支部	表千家同門会 山形県支部庄内地区	裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	大日本茶道学会鶴岡支部	表現舎一刻	劇団だいこん座	劇団いでは	劇団麦の会	Vivibaleスタジオ	吉統舞踊学園	鶴岡江戸川交流合唱団	庄内金管合奏団	鶴岡ジュニアオーケストラ	グリングターフィールズ	鶴岡響友会吹奏楽団	鶴岡吹奏楽団
小林 達夫	加藤 隆三	庄司 栖和	飯田 洛翠	高橋 一玲	佐藤 瑞峯	布川 珀翠	宮田 眞由美	中村 理泰	五十嵐 宗輝	佐藤 宗恵	小林 宗健	熊田 広樵	佐藤 正一	佐藤 秀樹	大館 一治	櫻井 清	佐藤 京子	吉續 正義	滝沢 元	伊藤 聡	佐々木 仁道	豊田 瑞穂	堀 公明	高橋 宏知
33-0617	25-0077	23-8704	66-2304	00-4106-7448	25-2590	23-0181	62-2884	22-8285	22-0113	23-9167	22-9948	22-1256	73-3153	23-5735	53-3052	33-2014	22-1667	22-5968	25-2532	00-4886-1387	24-2239	64-2441	22-5602	33-1000

(平成28年10月1日現在)